

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2025年2月13日

上場会社名 株式会社アバールデータ
コード番号 6918
代表者（役職名）代表取締役社長
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部部长
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
URL <https://www.avaldata.co.jp/>
(氏名) 菊地 豊
(氏名) 熊澤 陽一 (TEL) 042-732-1000

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,330	△12.9	1,102	△33.5	1,200	△32.3	904	△81.4
2024年3月期第3四半期	9,567	△11.6	1,656	△4.1	1,772	△1.8	4,867	30.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	146.87	—
2024年3月期第3四半期	790.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	22,736	20,100	88.4
2024年3月期	27,503	22,780	82.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 20,100百万円 2024年3月期 22,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	51.00	—	266.00	317.00
2025年3月期	—	39.00	—		
2025年3月期(予想)				31.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想につきましては、本日（2025年2月13日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△12.6	1,440	△31.3	1,550	△31.8	1,160	△77.9	188.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想につきましては、本日（2025年2月13日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	7,417,842株	2024年3月期	7,417,842株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,255,939株	2024年3月期	1,259,498株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	6,160,312株	2024年3月期3Q	6,157,007株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ（3）「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資が持ち直し、景気は一部に足踏みがみられるものの緩やかに回復しております。一方で世界経済では、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の停滞の継続に伴う影響、アメリカの今後の政策動向、地政学的リスクの高まりなどが、海外景気の下押しリスクとなり、先行きが不透明な状況となっております。

当社に関連深い半導体製造装置市場は、AIサーバ向けGPU関連への設備投資が牽引し、回復基調となりましたが、その他の分野においては、需要の減速傾向が続く分野もあり、全体的な回復に一定程度の時間を要するとみられます。

このような経営環境のもと、当社では、引続き中長期での需要の増加に備えた必要な先行投資を行いつつ、お客様の装置の付加価値向上に資する製品の提供に努めてまいりましたが、一部顧客の在庫調整の継続に加え、新たに調整局面に入った顧客もあり、売上高が減少し、想定を下回りました。また、成長投資積極化の中での当該トップライン低下の影響により、営業利益、経常利益及び当期純利益についても減少し、想定を下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は8,330百万円(前年同四半期比12.9%減)となりました。主に、新たな開発拠点として山梨R&Dセンターの建設工事が完了したことに伴い、固定資産の減価償却費が増加いたしました。このため、営業利益は1,102百万円(前年同四半期比33.5%減)、経常利益は1,200百万円(前年同四半期比32.3%減)、四半期純利益は904百万円(前年同四半期比81.4%減)となりました。

なお、四半期純利益は前年同四半期比で81.4%減少しております。

これは、売上高、営業利益、経常利益の減少要因に加え、前年同四半期は、政策保有株式の見直しによる資本効率の向上を図るため、投資有価証券の一部を売却したことにより多額の売却益を計上していることが要因となります。

当社は、事業内容を2つの報告セグメントに分けております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりであります。

① 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。部材入手難の解消が進み、受注残の製品が完成、納品されましたが、一部で在庫調整が続いており、全般的な産業用装置における設備投資は回復に至らず、全体として想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は5,452百万円(前年同四半期比11.7%減)、セグメント営業利益は884百万円(前年同四半期比19.9%減)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。部材の供給難の解消が進み、受注残の製品の完成、納入が進みましたが、一部で在庫調整が続いており、全体として想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は4,374百万円(前年同四半期比13.2%減)となりました。

ロ) 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。検査装置やFA関連の一部取引先の受注残の製品完成、納品が進んだこともあり、全体として想定どおり推移いたしました。

この結果、売上高は776百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。

ハ) 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。一部顧客の受給調整があり、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は301百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。

② 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売と、自社製品関連商品の販売を行っております。受注残の製品が完成、納入されましたが、一部顧客で新たに在庫調整が発生し、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は2,877百万円(前年同四半期比15.1%減)、セグメント営業利益は763百万円(前年同四半期比27.3%減)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、医療機器関連、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。FA関連の停滞が続いており、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は423百万円(前年同四半期比13.9%減)となりました。

ロ) 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。受注残の一部解消に伴う出荷が一服したことから、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は1,187百万円(前年同四半期比16.7%減)となりました。

ハ) 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の検査装置向けの受注は、一部顧客で新たに在庫調整が生じ、全体として想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は1,198百万円(前年同四半期比12.9%減)となりました。

ニ) 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品関連商品は、ほぼ想定どおりで推移いたしました。

この結果、売上高は68百万円(前年同四半期比29.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は22,736百万円(前事業年度末比4,767百万円の減少)となりました。

増加要因として、仕掛品が74百万円、原材料及び貯蔵品が205百万円、その他が856百万円、有形固定資産が424百万円それぞれ増加しております。

原材料及び貯蔵品の増加は、顧客に対する供給責任を果たすため原材料を購入し確保しておりますが、当社に関連深い半導体製造装置市場の設備投資需要の影響により、発注までの需給ギャップが生じており在庫が増加しております。

また、有形固定資産の増加は、主に、新たに開発拠点として、山梨R&Dセンターの建設工事が完了したことで、固定資産の計上を行ったことによります。

減少要因は、現金及び預金が、未払法人税等の納税および配当金の支払い、並びに有形固定資産の取得と一時的な支出等が重なったことにより3,388百万円減少しております。また、保有株式の時価変動および一年内満期予定の債券を有価証券へ振替えたこと等により、投資有価証券が2,597百万円減少しております。その他、受取手形、売掛金及び契約資産が221百万円、商品及び製品が254百万円、それぞれ減少しております。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は2,636百万円(前事業年度末比2,087百万円の減少)となりました。

増加要因としては、支払手形及び買掛金が15百万円、その他が38百万円増加しております。

減少要因としては、主に、未払法人税等が1,332百万円、賞与引当金が200百万円、繰延税金負債が588百万円それぞれ減少しております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は20,100百万円(前事業年度末比2,679百万円の減少)となりました。

主に、利益剰余金が973百万円減少となり、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の売却に伴い保有株式の減少及び時価変動の影響により1,723百万円減少となりました。

なお、自己株式が2百万円減少しておりますが、2019年6月21日開催の第60期定時株主総会において、譲渡制限付株式報酬制度を決議しており、2024年8月9日に、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込による減少となります。

(自己資本比率)

当第3四半期会計期間末における自己資本比率は前事業年度末と比べ5.6%増加し、88.4%となりました。

なお、自己資本比率は、当社の経営指標の一つとしており、自己資本比率80%以上を目標としております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において2024年5月14日に公表しております業績予想を修正しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,038,361	5,649,399
受取手形、売掛金及び契約資産	2,340,956	2,119,892
電子記録債権	229,451	268,546
有価証券	—	99,854
商品及び製品	1,008,490	754,005
仕掛品	408,928	483,239
原材料及び貯蔵品	5,679,895	5,885,378
その他	137,736	993,911
流動資産合計	18,843,820	16,254,227
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,151,701	1,151,701
その他(純額)	1,699,913	2,123,943
有形固定資産合計	2,851,614	3,275,644
無形固定資産	40,880	48,450
投資その他の資産		
投資有価証券	5,645,205	3,047,308
関係会社株式	25,500	25,500
前払年金費用	16,248	17,044
その他	80,571	68,144
投資その他の資産合計	5,767,525	3,157,997
固定資産合計	8,660,021	6,482,091
資産合計	27,503,841	22,736,319
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,509,146	1,524,475
未払法人税等	1,332,846	—
賞与引当金	320,157	119,772
役員賞与引当金	74,600	55,135
その他	237,260	275,836
流動負債合計	3,474,010	1,975,219
固定負債		
繰延税金負債	1,247,413	658,553
役員退職慰労引当金	2,230	2,230
固定負債合計	1,249,643	660,783
負債合計	4,723,653	2,636,002

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,558,299	2,572,768
利益剰余金	15,396,145	14,422,489
自己株式	△906,079	△903,581
株主資本合計	19,402,460	18,445,771
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,377,727	1,654,545
評価・換算差額等合計	3,377,727	1,654,545
純資産合計	22,780,187	20,100,316
負債純資産合計	27,503,841	22,736,319

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,567,281	8,330,053
売上原価	6,451,756	5,754,897
売上総利益	3,115,524	2,575,156
販売費及び一般管理費	1,458,671	1,472,951
営業利益	1,656,853	1,102,204
営業外収益		
受取利息	111	725
受取配当金	110,429	91,175
受取賃貸料	360	293
助成金収入	2,966	3,042
為替差益	—	34
その他	1,603	2,664
営業外収益合計	115,471	97,935
営業外費用		
為替差損	131	—
支払手数料	73	58
営業外費用合計	204	58
経常利益	1,772,120	1,200,081
特別利益		
投資有価証券売却益	5,154,548	73,000
特別利益合計	5,154,548	73,000
特別損失		
固定資産除却損	77	0
特別損失合計	77	0
税引前四半期純利益	6,926,591	1,273,081
法人税、住民税及び事業税	1,979,153	197,302
法人税等調整額	80,139	171,000
法人税等合計	2,059,292	368,302
四半期純利益	4,867,298	904,778

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,177,594	3,389,686	9,567,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,177,594	3,389,686	9,567,281
セグメント利益	1,104,997	1,050,298	2,155,295

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,155,295
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△498,442
四半期損益計算書の営業利益	1,656,853

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,452,561	2,877,491	8,330,053
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,452,561	2,877,491	8,330,053
セグメント利益	884,658	763,265	1,647,924

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,647,924
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△545,719
四半期損益計算書の営業利益	1,102,204

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	86,806千円	141,488千円